

大阪バイオ・ヘッドクォーター 2025

Innovation for Life Science



OSAKA BIO
HEADQUARTERS

About us

大阪バイオ・ヘッドクォーターとは



大阪の健康・医療関連産業のさらなる発展を図るため
大阪府内の産学官が一丸となった体制です。

Vision

さらなる発展をめざして

大阪を健康・医療関連産業の世界的なクラスターに

ライフサイエンス分野における産学官の集積の強みを活かし、医薬品、医療機器、再生医療等製品、及び科学的根拠に基づいた健康関連製品・サービスなど、イノベーション創出を図ることにより、大阪が東西二極の一極として日本の未来を支え、牽引する成長エンジンの役割を果たせるよう、健康・医療関連産業のさらなる発展をめざしています。

構成 機関

茨木市
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
公立大学法人大阪
大阪市
大阪商工会議所
国立大学法人大阪大学
大阪府
関西医薬品協会
近畿経済産業局

特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議
国立研究開発法人国立循環器病研究センター
彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会
公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
公益財団法人都市活力研究所
独立行政法人中小企業基盤整備機構
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
バイオ・サイト・キャピタル株式会社
国立研究開発法人理化学研究所

History

大阪のライフサイエンスの歩み



大阪バイオ・ヘッドクォーター
代表 審良 静男

江戸時代から医薬品流通の中心地であったことから、大阪は「くすりの町」として栄えており、現在でもライフサイエンス関連の優れた大学、研究機関や大手製薬企業等が集積しています。こうした強みに加え、故 山村雄一 元大阪大学総長の「大阪北部の北摂地区を生命科学（ライフサイエンス）のメッカにしたい」という構想が発表されたことから、大阪のライフサイエンス産業を推進する動きが高まり、2008年に「大阪バイオ戦略推進会議」と「大阪バイオ・ヘッドクォーター」が設置されました。産学官がー丸となって、彩都・健都・Nakanoshima Crossの拠点整備や府内ライフサイエンス企業の海外進出支援などの取組みを進めているところです。

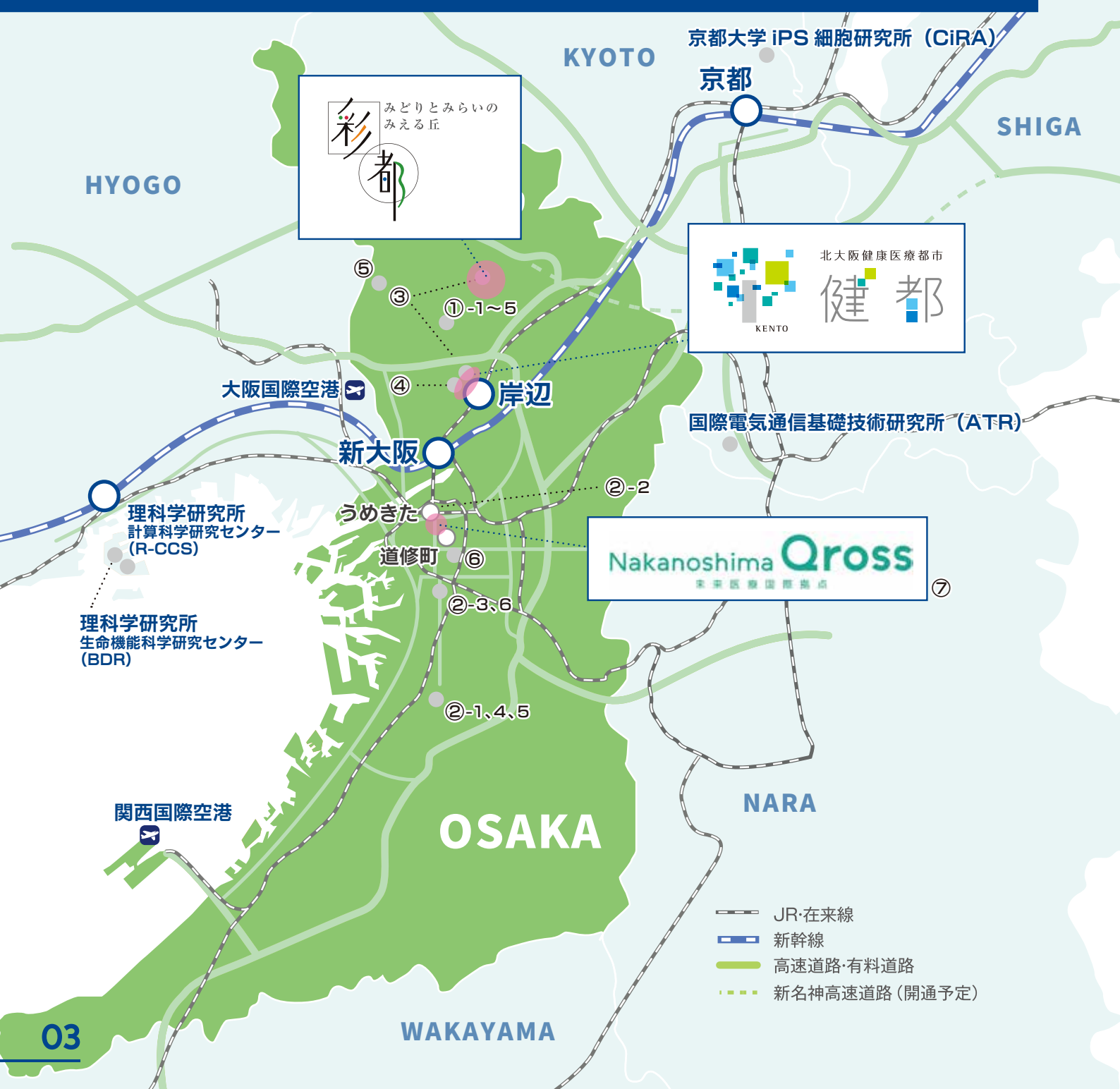
2025年は、いよいよ万博イヤーとなります。大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」は、ライフサイエンス分野と親和性が高いものとなっております。我々大阪バイオ・ヘッドクォーターがトップランナーとなることを目指し、「大阪を健康・医療関連産業の世界的なクラスターに」を合言葉に、世界中からの注目が大阪に集まるこの好機を逃さず、大阪のライフサイエンス産業のさらなる飛躍に向けて、尽力してまいります。

大阪バイオ・ヘッドクォーターの今後の活動に注目していただくとともに、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

大阪のライフサイエンス関連大学・研究機関等の集積

大阪北部を中心に、ライフサイエンス関連の優れた大学、研究機関等が多数立地すると共に彩都や大阪市内道修町などには製薬企業等が集積しています。

- ①-1 大阪大学
- 2 大阪大学微生物病研究所 (RIMD)
- 3 大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC)
- 4 大阪大学蛋白質研究所 (IPR)
- 5 大阪大学医学部附属病院
- ③ 医薬基盤・健康・栄養研究所 (NIBN)
 - ・ 医薬基盤研究所
 - ・ 国立健康・栄養研究所
- ④ 国立循環器病研究センター (NCVC)
- ⑤ 産業技術総合研究所 (AIST) 関西センター
- ⑥ 日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬事業部 西日本統括部
- ⑦ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部
- ②-1 大阪公立大学
- 2 大阪公立大学健康科学イノベーションセンター
- 3 大阪公立大学大阪国際感染症研究センター
- 4 大阪公立大学創薬科学研究所
- 5 大阪公立大学バイオメディカルフォーラム
- 6 大阪公立大学医学部附属病院 臨床研究・イノベーション推進センター



再生医療をベースとした未来医療の実用化・産業化拠点



Nakanoshima Qross

未来医療国際拠点

Nakanoshima Qross は、医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する、他に類を見ない拠点です。本拠点は、再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能（AI）、IoT の活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」における産業化の推進、及び国内外の患者に対する「未来医療」の提供を通じて、国際貢献の推進をめざします。



提供：一般財団法人未来医療推進機構

世界から多様な人材と最新の情報が 「あつまり」「つながる」仕組みを備えます。

創造

人や情報の「つながり」を通じて
未来医療の創造を牽引

未来医療 R&D センター

様々な研究・開発ニーズに対応する複合研究開発施設
・リエゾンオフィス
・産学医連携スモールオフィス
・インキュベーションスペース（ウェットラボ・シェアラボ等）

三井リンクラボ中之島



賃貸ウェットラボ、実験機器シェア型のウェットラボ、オフィスや会議室等の共用部も充実。入居テナント等が利用できるラウンジなどを設け、活発なコミュニケーションを促進し、オープンイノベーションの中核を担います。

実践

先端医療等を通じて
未来医療の実践を牽引

未来医療 MED センター

未来医療 R&D センターと連携する複合医療
・病院
・診療所
・高度検診センター

公益財団法人
京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)



本拠点・京都での活動に加え新たに中之島で進める my iPS® プロジェクト。iPS 細胞や関連技術を良心的な価格で、研究機関・企業へ提供しています。中之島に新たな研究施設を設置し、製造コスト削減を目的とした閉鎖型自動培養装置の開発を企業との共同研究で進めています。

共有

イベントや国際学会・会議を通じて
未来医療の共有を推進

中之島国際フォーラム

周辺施設とも連携するオープンスペースを備えた交流施設
・カンファレンスセンター
・交流・共創・発信の場
「Crossover Lounge 夢」

Crossover Lounge 夢



再生医療をはじめとした未来医療に関わるアカデミア、スタートアップ、企業、医療関係機関のみならず、市民も含めたコミュニケーションを行う交流の場。情報発信スペース、共創ラウンジ、スタジオの3つで構成されておりこのうち情報発信スペースは、誰でも気軽にご利用いただけます。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）関西支部



主に関西圏の企業やアカデミアの皆様に対する相談業務及びGMP等適合性調査業務を通じて、医薬品、医療機器及び再生医療等製品の実用化を積極的に推進しています。これまでPMDAと接点の少なかったベンチャー企業やアカデミアの方々にもお気軽に相談にお越しいただきたいと思ひます。

北大阪健康医療都市（健都）



北大阪健康医療都市（健都）では、健康・医療関係の研究機関・企業が集積し、オープンイノベーションが展開されています。加えて、市民が集う駅前商業施設や運動公園等、市民が実証試験に参加出来る場所も整備することで、医療・ヘルスケア産業の創出と新たなライフスタイルの創造に市民も参加出来るまちづくりを進めています。



産学官民連携による「健康・医療」のまちづくり

国立循環器病研究センターと医薬基盤・健康・栄養研究所を核として、健康関連の企業・施設が集積。新たなヘルスケア産業の創出と新たなライフスタイルの創造の好循環をうみだします。



立地企業の取組

地球の恵みを、社会の望みに。



ウェルネス分野の体験・実証・共創の拠点である「エア・ウォーター健都」では、ヘルスケア関連機器の展示スペースを1階に常設。老化や疲労の原因となる物質を測定できる「AGEs センサ」、センサーの前に立つだけで身体がコントロールとなる運動ゲーム「TANO」等の展示品は、近隣住民をはじめとする来館者が自由に体験でき、測定データの取得や体験者の声を改良に活かす実証実験の場となっています。また、自社のみならず、他社や地域との連携も行いながら、音楽療法や運動講座などの健康関連イベントも実施。地域の方々もウェルネス関係者も気軽に訪れることができる創造・開発・発信の場として、今後も取り組みを強化していきます。



株式会社プロトセラは、健都に研究開発施設と衛生検査所を有する研究開発型の検査サービス企業です。自社製品であるプロトキー®大腸がん・すい臓がんリスク検査や、ヘパサイン™ 肝疾患（脂肪肝・肝臓がん・肝硬変など）リスク検査など、健康診断向けの臨床検査を提供しています。研究開発施設では、独自のペプチド解析技術を基に、健都を始めとする日本全国の研究機関と連携して、疾患予防に有用な新規バイオマーカーの探索や、疾患リスク予測機能の解明などに取り組んでいます。衛生検査所では、これらの成果をもとに、健都の医療機関や住民の方々や連携して、がん検診の啓発活動や、がんリスク検査の普及に努めています。



そのひらめき、すぐ研究。



「ターンキーラボ健都」は細胞培養や遺伝子解析が可能な設備と機器が揃う P2/BSL2 対応のシェアラボで、初期投資を抑えてすぐに研究を始めることが可能です。施設内にはスタッフが常駐し、日常業務や機器メンテナンス等、日々の研究をサポートします。また、実験スペース以外にも、サロンや会議室、ドリンクコーナーを完備し、快適なワーキングスペースを提供しています。加えて、セミナーが定期的に開催され、研究に役立つ学びの場、交流の機会としても活用可能。生物系のベンチャーや大学・研究所の方だけでなく、工業部品、電子部品、機器製造、素材メーカーなど幅広い業界の方が利用されています。



税制優遇

健都イノベーションパークは成長産業特別集積税制（成長特区）の対象区域です！

対象区域でライフサイエンス等に関する事業を行った場合に、府税（不動産取得税・法人二税）を軽減
※軽減を受けるためには要件がありますので、詳細は大阪府ライフサイエンス産業課にお問い合わせください。



彩都ライフサイエンスパーク



みどりとみらいの
みえる丘

彩都のシンボルゾーンである彩都ライフサイエンスパークは、バイオ・医薬などライフサイエンス分野に関連する施設が集積する一大拠点です。医薬基盤研究所をはじめとする研究機関や企業、インキュベーション施設に入居するスタートアップ等が日々連携し、イノベーションの創出に向け取り組んでいます。



多彩な機能で日本の創薬研究をリード！

医薬基盤研究所



医薬基盤研究所は、国立医薬品食品衛生研究所大阪支所を主な母体とし、感染症研究所や医薬品医療機器総合機構の組織の一部を統合して誕生した研究所です。

近隣の大阪大学の他、府内の医療機関とも連携することにより「治らない病気を治すことのできる病気にする」を目標に、民間企業が取り組みにくい難治性疾患や希少疾患を対象にした研究開発を重点領域の1つとして取り組んでいます。病と闘う人々への希望の灯りとなるべく、研究成果を大阪から世界へ発信してまいります。

彩都バイオインキュベーション施設



バイオ・サイト・キャピタル株式会社は、彩都の地で20年以上バイオ・ライフサイエンス領域のインキュベーション施設を管理・運営しています。これまで約100社のスタートアップが入居し、大阪大学や医薬基盤・健康・栄養研究所などの産学ネットワークを通し、次世代の技術を生み出す高度な研究開発拠点*として、薬・機器の上市、IPOやM&Aなどの成果が続々と生まれてきました。今後も、スタートアップの誕生からインキュベーション施設卒業までの長期継続的な伴走支援と関係構築により、安心して事業成長と研究開発活動に打ち込んでいただける環境を提供していきます。

※P2 対応、動物実験可



彩都バイオインキュベータ

大学発スタートアップなどを対象にしたインキュベーション施設

ラボ 32室+1フロア 約67㎡、138㎡など
3施設共用の動物実験施設あり



彩都バイオヒルズセンター

バイオ・ライフサイエンス分野の企業全般を対象にしたインキュベーション施設

ラボ 9室 約77㎡



彩都バイオイノベーションセンター

新たな事業展開を図る企業などを対象にしたインキュベーション施設

ラボ 18室+1フロア 約70㎡
治療薬製造施設あり

入居者が使用可能な遠心分離機やディープフリーザー等が設置された共同機器室



施設内企業や彩都周辺の企業、研究機関等との情報交換、交流会を定期的実施



大阪府から設備費補助、茨木市から賃料補助制度あり

立地企業の取組

脳科学香料株式会社

冬眠動物は通常の生物では生存困難な低体温や低心拍状態を生き抜く保護能力を持ちます。この能力を解明し医療に応用するアイデアは古くからある夢の一つです。しかし、その実現へのハードルは高くゴールへ向かう道筋も明確ではなかった状況が続いていました。脳科学香料株式会社では機能性匂い分子の研究開発を一貫して行ってきました。その知識を活かし、感覚神経の受容体を介して脳幹の保護中枢を刺激し「人工冬眠・生命保護状態」を誘導する革新的な匂い分子の開発に世界で初めて成功しました。心筋梗塞、脳梗塞、急性呼吸窮迫症候群など多様な救急疾患モデルでの治療効果も確認されています。パートナー企業と共に世界初の人工冬眠医療の早期実現を進めています。



匂い刺激で冬眠状態を誘導したハムスター

株式会社ジーンデザイン

株式会社ジーンデザインは、味の素グループの一員として、核酸医薬品原料の受託製造開発を通じて人々の健康に貢献することをめざし、この彩都の地で研究開発に積極的に取り組んでいます。固相合成技術を磨き、複雑なオリゴ核酸製造の要望に果敢に挑戦することで、製薬企業やアカデミアにとってかけがえのないパートナーとして信頼を得ており、2024年には、技術的に困難とされていた長鎖RNAの高品質・高効率合成法の開発と事業化を実現し、核酸医薬の研究開発者が直面する課題に対するソリューションを提供してきました。あくなき挑戦を続け、医薬品開発の新たな可能性を切り開くことにこれからも邁進してまいります。





日欧バイオテック&ファーマパートナーリングカンファレンス

中小企業・スタートアップ等の海外展開を支援するため、日欧産業協力センターとともに、日本企業と欧州企業とのパートナーリングを行う「日欧バイオテック&ファーマパートナーリングカンファレンス」を開催しています。

◎ 2024 年のハイライト

参加企業数	面談数	ピッチ企業数	ポスター展示企業数	参加国数
159	302	38	49	22

◎ 主催



Osaka Biotech & Pharma Networking Event

海外のライフサイエンス産業が盛んな地域の地方政府・州政府が推薦する、日本に関心がある企業とのパートナーリングを行う「Osaka Biotech & Pharma Networking Event」を開催しています。

◎ 2024 年のハイライト

参加企業数	参加者数	面談数	協力団体数 (海外地方政府等)
75	102	56	5

オンタリオ州政府
ケベック州政府
スコットランド国際開発庁
北アイルランド開発庁
ウェールズ政府



関西のユニークな研究シーズ大集合！

研究者と事業者の共同研究やパートナーリングのきっかけづくりとなる、関西の研究者が研究シーズを発表するイベントです。

◎ 2024 年のハイライト

テーマ

再生医療・遺伝子治療/ペプチド創薬

発表者

13

参加研究機関（順不同）

大阪大学／大阪公立大学／関西医科大学
医薬基盤・健康・栄養研究所
神戸大学 理化学研究所
京都大学／京都大学 iPS 細胞研究財団
京都薬科大学

for innovations 国際連携・海外展開



BioM (ドイツ)

バイエルン州ミュンヘンに拠点を置く、バイオ関連ネットワークの管理と、ミュンヘンバイオテッククラスターを運営する非営利組織。



Biocat (スペイン)

カタルーニャ地域のバイオサイエンスクラスターを構成する企業、研究グループ、病院、大学などの支援を目的とする組織。



bioXclusters

欧州のライフサイエンス関連中小企業の成長と競争力強化を目的とする、欧州4か国にまたがる合同クラスター。



bioPmed (イタリア)

ピエモンテ州のライフサイエンスとヘルスケアに特化したピエモンテの地域イノベーションクラスター。約100社の企業が属する。



LYONBIOPOLE (フランス)

リヨン市を中心としたオーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方の医療クラスター。企業・研究センター(大学病院、大学、財団)のメンバーで構成。



POM Limbrug (ベルギー)

フランドース地方リンブルフ州ハッセルトに拠点を置くクラスター。病院や大学・研究機関等、ライフサイエンス関連施設が集積するフランドースを代表する一大拠点(ヘルス・キャンパス・リンブルフ)を運営指揮する非営利組織。



展示会出展事業

国内外の展示会・商談会への出展・参加や、展示会への出展支援により、大阪のポテンシャルを発信し、認知度向上やビジネス機会創出に取り組んでいます。

BIO International Convention



6月に米国で開催される世界最大のパートナーリングイベントBIO International Conventionに参加し、海外の様々なクラスター等に対しプロモーションを行っています。また、2025年からはブース出展し大阪のポテンシャルを更に発信します。

BIO Europe



10~11月に欧州で開催されるパートナーリングイベント BIO Europe に参加し、大阪のポテンシャルを発信しています。

Bio Japan



10月にパシフィコ横浜(神奈川県)で開催されるアジア最大級のパートナーリングイベントにブース出展し、大阪のポテンシャルを発信するとともに府内企業の出展支援を行います。

Japan Health
By Informa Markets

Japan Health

大阪・関西万博の関連イベントとして2025年6月に日本で初開催される医療機器・ヘルスケア・再生医療等がテーマの国際展示会にブース出展し、大阪のポテンシャルを発信します。

Organizations

集積する大学・研究機関等

世界をリードする大学や研究機関が立地
この強みを生かし世界的なクラスター形成をめざしています



国立大学法人 大阪大学



我が国有数の総合大学で、特に免疫研究が有名。バイオメディカル分野に卓越し、多くの研究者を輩出しています。基礎研究段階からの産官民との組織間連携（＝産学共創）を推進し、新たな社会価値の創出をめざします。●共同研究講座・共同研究所の設置、包括連携協定の締結 ●知的財産の技術移転推進 ●大学発ベンチャーの支援



大阪府吹田市山田丘 1-1
06-6877-5111

大阪大学 微生物病研究所 (RIMD)



大阪大学微生物病研究所は、感染症、免疫、がん研究において医科学・生物学分野における研究を牽引してきました。現在はこれらの研究分野に加え遺伝子工学、ゲノム解析学など多様な分野の研究を展開しています。



企業広報推進室 大阪府吹田市山田丘 3-1
06-6877-5111

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)



世界トップレベル研究拠点 (WPI) の一つとして2007年に発足した免疫学の国際研究拠点です。バイオイメージング、バイオインフォマティクスを取り入れた先端的基礎研究とその医学への展開を加速しています。また、共同研究のハブとして、オープン・イノベーションラボラトリーの構築を進めています。



企画室 大阪府吹田市山田丘 1-1
06-6879-4273

大阪大学 蛋白質研究所 (IPR)



大阪大学蛋白質研究所は、実験科学と計算科学を組み合わせた蛋白質の基礎研究を実施しています。大型装置（放射光 BL、NMR、CryoEM）の共同利用、蛋白質データベース (PDB) の構築・公開、蛋白セミナーの実施、蛋白質データ科学の推進といった共同利用・共同研究拠点として高度な研究を行う運営体制を整えています。



企画室 大阪府吹田市山田丘 1-1
06-6879-4273

大阪大学 医学部附属病院



大阪大学医学部附属病院は、良質な医療を提供するとともに、医療人の育成と医療の発展に貢献することを理念とする、先進医療開発病院です。本院は、臨床研究中核病院として、「特区医療機器薬事戦略相談」や「革新的医薬品の開発迅速化」等の施策を活用し、日本の医療産業の発展に寄与することをめざします。



大阪府吹田市山田丘 2-15
06-6879-5111

大阪公立大学



大阪市立大学と大阪府立大学が統合して2022年に開学した12学部・学域、15研究科を擁する日本最大の公立総合大学です。医学はもちろん関西唯一の獣医学の他、工学、理学に加え幅広い社会科学により学際的なライフサイエンス分野の研究に取り組んでいます。2026年度には大学院創薬科学研究科を開設し、更なる発展を目指しています。



大阪公立大学 産学官民共創推進室
大阪府堺市東区学園町 1-1
072-254-9128

大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター



健康科学イノベーションセンターでは、疲労・抗疲労の医学・科学を中軸とした、より身近な“健康・健康科学”領域のイノベーション創出に加えて、スポーツ科学・健康科学を中軸とした、より“アクティブな健康づくり”領域のイノベーション創出を体感していただける場として活動して行きます。



<https://www.omu.ac.jp/orp/chsi/>
gr-knky-chsi@omu.ac.jp

大阪公立大学 大阪国際感染症研究センター



大阪国際感染症研究センター（OIRCID）は、感染症を社会の疾患ととらえ、大阪公立大学の学際的総合知を活かした様々な分野の専門家と行政、企業と連携した異分野融合型の「マクロ感染症学」に取り組んでいます。『感染症に強いまちづくり』を目指し、大都市大阪が抱える感染症対策「メトロポリタンヘルス」を実践しています。



<https://www.omu.ac.jp/oircid/>

大阪公立大学 創薬科学研究所



次世代医薬品の創出に資する創薬科学の発展に取り組む研究拠点です。新規タリディ技術やナノサイズ生体高分子を利用した先端的の薬物送達技術（DDS）などに強みを持つ研究者が学内外より集い、分野横断的な研究を展開することにより、現在の医療アンメットニーズに答える、独自かつ多様な創薬シーズを開発します。



大学院農学研究科 教授 乾 隆
大阪府堺市中区学園町1-1
072-254-9473

大阪公立大学 バイオメディカルフォーラム



バイオ産業の取組みなど研究戦略についての専門的助言を行うオール大阪公立大学のバイオ研究拠点です。医薬品開発の前臨床段階までの重要な研究開発ステップに深く関わる3つの研究所と3つのセンターで構成されており、バイオメディカル研究戦略の立案、提言、相互協力を促進しています。



URA センター
大阪府堺市中区学園町1-1
072-254-9128

大阪公立大学医学部附属病院 臨床研究・イノベーション推進センター



大阪公立大学 医学部附属病院
臨床研究・イノベーション推進センター
Center for Clinical Research and Innovation



本センターは臨床研究の適正性をより一層確保し、研究の推進を積極的に支援するとともに、産学の連携を推進することにより医療の発展に寄与し、広く社会に貢献します。治験では質の高いデータの取得を目指し、円滑かつ適切に実施するためのサポート体制を提供します。当院では、すべての診療科で治験の実施が可能です。



大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7
あべのメディックス6階

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所



医薬品や医療機器の技術向上を目指して、医薬品や医療機器、生物資源等の開発に資する共通的な研究及び民間の研究・開発を促進し、医薬品技術及び医療機器等技術の向上のための基盤の整備を図るとともに、健康や栄養に関する調査及び研究並びに健康増進法に基づく業務を実施し公衆衛生及び国民保健の向上を目指しています。



大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
072-641-9811 (代表)

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター



国の医療政策と一体となって国民の健康を守るため、循環器病の究明と制圧を目標に設立された国立高度専門医療研究センターです。心臓血管疾患と脳血管疾患の診療と研究の専門家、及び企業が連携して治療成績の向上や新たな技術開発、専門医療従事者の育成に取り組んでいます。



大阪府吹田市岸辺新町 6-1
0570-012-545 (ナビダイヤル)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（AIST）関西センター



産総研関西センター・モレキュラーバイオシステム研究部門では、計測基盤・標準、機能性バイオ分子の探索・評価・応用等の研究開発を通じ、バイオ技術の社会実装を目指します。行政機関や企業等と連携し超高速PCR等の診断・検査機器開発、ゲノム編集等によるバイオものづくり、生分解プラの開発と環境性能評価を推進します。



産学官連携推進室 大阪府池田市緑丘 1-8-31
072-751-9606

創薬等支援機関

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）創薬事業部



大学や公的研究機関に所属する研究者が保有する創薬シーズを対象に、創薬支援ネットワーク構成機関である理化学研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所、産業技術総合研究所が保有する創薬技術や設備等を活用し、標的検証から前臨床開発までのシームレスな支援を行い、製薬企業等への導出を目指します。



西日本統括部 大阪府大阪市中央区備後町 4-1-3
御堂筋三井ビルディング 6F
06-6121-2806

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）関西支部



日本発の革新的医薬品等の創出に向け、開発初期に必要な非臨床試験・治験計画策定等に関して、アカデミアやベンチャー企業を主な対象にレギュラトリーサイエンス（RS）総合相談／RS 戦略相談を実施する他、各種相談業務を実施しています。また、医薬品等の製造設備や製造管理手順のGMP等への適合性を調査しています。



大阪府大阪市北区中之島 4-3-51
Nakanoshima Cross 未来医療 R&D センター 6F
06-6448-8540



大阪バイオ・ヘッドクォーター事務局

(大阪府 商工労働部 成長産業振興室 ライフサイエンス産業課)

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 咲洲庁舎 25 階

Tel 06-6210-9818

Fax 06-6210-9296

Web <https://osaka-bio.jp/>

Email Life-science@sbox.pref.osaka.lg.jp

